6　柔道競技会

1　期　日
令和８年７月４日（土）　１３：００～１７：００

2　会　場
マエダハウジング東区スポーツセンター　〔広島市東区牛田新町一丁目８番３号〕

3　種　目
⑴　団体戦
ア　小学生（３～４年生）の部
イ　小学生（５～６年生）の部
ウ　中学生男子の部
エ　中学生女子の部
⑵　個人戦
幼年　年少年中・年長
小学　１・２・３・４・５・６年生の学年別及び男女別
中学　１・２・３年生の学年別及び男女別

4　参加制限
⑴　個人戦は、フリーとする。
⑵　団体戦は各単位団（各道場・教室）で各部２チームまでとする。

5　競技規則
⑴　競技別上の規程及び方法
国際柔道連盟試合審判規定・（公財）全日本柔道連盟少年大会特別規定に準ずるほか、次による。

ア　チーム編成は、監督１名、選手３名とする。
注）該当学年でチーム編成が困難な場合、１学年下位から補充できるものとする。
（小学２年生の３～４年生の部への出場も可能）
ただし、中学生の部に小学生は出場できない。

イ　選手の配列は学年順（同学年では体重順）とする。

ウ　団体戦の勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価がない、または同等の場合、「指導」差が２対０となった場合のみ「指導」０の選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
「一本」「技あり」「有効」「僅差」以外は引き分けとする。
なお、試合の勝敗は、勝数の多少により決定する。勝数同数の場合は、内容による。内容も同じ場合は任意の選手を選び、代表戦で決定する。
代表戦でも勝敗がつかない場合は旗判定とする。

エ　個人戦の勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価がない、または同等の場合、「指導」差が１対０となった場合のみ「指導」０の選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
「技あり」「有効」「指導」も同等の場合、ゴールデンスコアは行わず、１審は絶対判定、３審は旗による「判定」で勝敗を決定する。
エントリーが少人数の場合、２学年を同一クラスとする場合もある。
オ　試合時間は、団体戦・個人戦とも全て２分とする。

６　試合方法

トーナメント方式（個人戦の予選はリーグ戦）とする。

７　表　彰

⑴　団体戦

１位と２位にメダルを、１位から３位まで賞状を授与する。

⑵　個人戦

各種目別に１位から３位までメダルと賞状を授与する。

８　組み合わせ

主催者で行う。

９　競技上の注意

正しい礼法

10　参加料

１人５００円（大会当日に受付で徴収）

11　参加申込

⑴　所定の申込書に単位団名簿（参加する団員名に赤で〇を記入したもの）を添付して、郵送で申し込む。

⑵　締切期日は、令和８年６月４日（木）必着とする。

⑶　申込先

広島市スポーツ協会までお問い合わせください　平日９：00～17：00

※なお、登録が完了した単位団にはメールにて要項を送信しております。

082-243-0579　kyougi-sp3@sports-or.city.hiroshima.jp

12　その他

⑴　大会中の傷害・事故について、主催者は一切その責めを負わない。

⑵　ごみは、各自・各団で持ち帰り処理すること。